

心に残る文化財子ども塾 浜田市立雲雀丘小学校

1. 活動の概要

9月29日（金）、まだ暑さの残るなか、浜田市立雲雀丘小学校の6年生12人を対象として『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

はじめに、古代出雲歴史博物館職員が小学校周辺や浜田市内の遺跡を紹介しました。次に浜田市教育委員会職員により、大仏が作られた奈良時代の寺院である石見国分寺出土の軒丸・軒平瓦について解説しました。さらに石見の遺跡から出土した奈良時代の土器に触れてもらいました。土器に触れるのは初めてという児童が多く、手触りを感じてもらい、用途について思いをはせました。

次に、大仏パネルを組み立てました。子どもたちは、協力してパネルを並べ、実物大の大仏の大きさを実感しました。そのあと、大仏パネルの大きさを実感できるよう、寝転がったりするなどして記念撮影をしました。9月にもかかわらず暑い日でしたが、クラス全員が団結して大仏を完成させて、その大きさを実感した一日となりました。

2. 活動の様子



3. 活動を終えて

1) 児童の皆さんから

- ・みんなで大仏パネルをしたことが心に残りました。奈良時代の人たちの大変さを知ることができました。(複数)
- ・大仏の実際の大きさが分かりました。(複数)
- ・ドローンで写真を撮るのが新鮮でした。
- ・土器を初めて触って、ザラザラしていて、昔のことがよく分かりました。
- ・島根県にある古墳について知りたい。
- ・昔の島根の人がどんな生活を送っていたのかを知りたい。
- ・昔の人はどのように生活していたのかを体験してみたい。

2) 担任の先生から

- ・自分たちの住む浜田の歴史と教科書で学ぶ歴史を重ねながら考えることができました。また、体験を通して大仏の大きさを実感することができました。

3) 古代出雲歴史博物館から

- ・台座の部分から協力して作成していました。パネルを一生懸命並べたり、横一列に並んで位置を調整したり工夫していたことが印象に残りました。片付けも協力してもらい、スムーズに行うことができました。